

「地域を網羅する賢いバス停による見守りサービス事業の創出と展開」

しくみ

- ① 野々市市内の各バス停に画像認識用のカメラを内蔵した端末を設置
- ② 端末を設置したバス停の前を児童が通過
- ③ カメラの映像から、端末で児童の特徴を数値化したデータを作成。セキュリティを確保した無線LANネットワークでサーバーに送信
- ④ サーバーに蓄積されたデータを解析し児童を特定
- ⑤ 保護者は、スマホのメールやアプリで児童がバス停を通ったことを把握

※ 野々市市内にはコミュニティバス(のっティ)のバス停が随所に所在(市内112カ所)